

夢をつないで… ふるさと列車 只見線



撮影 大藪琢也

奥会津写真家集団 写好景嶺

只見線 復興祈念 写真展

2017. **4.29-6.30**

9:00-17:00(最終入館16:30)

三島町交流センター 山びこ ※月曜休館

入場無料

□奥会津写真家集団 写好景嶺

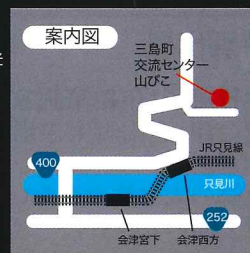
今泉 潤 衣斐 隆 遠藤真人 大越智貴 大藪琢也
北内泰久 志賀 薫 鈴木 公久 高草木裕子 星 賢孝

□三島町写真クラブ 写団道奥21

小島 純 齋藤公朗 佐藤美智子 中兵一郎
二瓶 厚 諸井祥一

□特別出展

鉄道風景画家 松本 忠
色鉛筆画家 大竹恵子
鉄道写真家 吉永陽一



《同時開催》4/22-5/31*会津ジゴ坂アートリレー芸術祭 只見線復興祈念写真展*
只見川の水害を記録した貴重な写真ほか、郷愁を感じずにはいられない、只見線を走る
SLの写真などを多数展示。

場所:会津ジゴ坂学舎
福島県南会津郡下郷町落合字ジゴ坂1604-1 TEL.0241-67-4426 ※木曜定休

主催:三島町 三島町教育委員会 三島町交流センター山びこ 共催:奥会津写真家集団・写好景嶺 三島町写真クラブ 写団道奥21 後援:三島町観光協会 只見線つなぎ隊

お問い合わせ 三島町交流センター山びこ 〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418 ☎0241-52-2165

写真展に寄せて

平成23年7月29日から30日にかけて降り続いた雨は、この奥会津地方に未曾有の豪雨となり、土石流となって各地域に大きな被害をもたらしました。

只見川にも大量の泥水が流れ込み、轟音を伴いながら、川岸を削り、JR只見線の線路をえぐり、橋脚を破壊して、橋梁も流出したままになっています。このJR只見線がいよいよ、復旧に向けて動き出します。

今回はこの只見線を愛し、写真を撮り続けている写真家の皆さんのご協力で素晴らしい写真展が開催される運びとなりました。この復興祈念写真展を機会に、ご来場いただいた皆さんが改めて只見線の素晴らしさを感じ、愛して下さいますようお願い申し上げます。

三島町長 矢澤 源成

奥会津写真家集団 写好景嶺

今泉 潤

社会人第一歩を会津の地で踏み出し、只見線の世界に迷い込んだ。営業定数が定量しない価値の可視化がコンセプト。

衣斐 隆

横浜市在住のプロフォトグラファー。「Railscapes」と題して鉄道の四季折々の表情や人々との関わり合いをテーマに撮影。「Railway Graphic D.E.F.」代表。

遠藤真人

日本写真学会会員・日芸卒。撮影・講師・コンテスト審査員・メディア出演・グッズ製作など多彩に活動するカメラマン。

大越智貴

郡山市在住。中学生の時に奥会津の景色や人々と只見線の虜になり、現在は毎週のように奥会津に通っています。

大藪琢也

茨城県在住。只見線と奥会津に魅せられた、旅と酒とカメラをこよなく愛するアマチュア写真家。

北内泰久

1962年横浜生まれ。只見線は心のふるさと。鳥取県若桜鉄道勤務。

志賀 薫

奥会津地域おこし協力隊。歳時記の郷で撮影を通してたくさんの出会いに感動の日々です。

鈴木 公久

大阪市在住。埼玉在住時代から奥会津の自然と人々に魅せられ、通っています。自然と文化を愛し、温泉とお酒を愛しています。

高草木裕子

群馬県みどり市在住。只見川の織りなす優美な景観と奥会津の人々のあたたかさに心を打たれ、只見線の撮影に心酔するようになる。

星 賢孝

奥会津と只見線だけを追求し年間300日撮影。「奥会津・只見線歳時記カレンダー」も好評販売中。

三島町写真クラブ 写団道奥21

小島 純

フィルムカメラからデジタルカメラに移行して10数年。近頃モノクロ回帰の心がツツツと再燃してきた。

齋藤公朗

初めてカメラを手にしたのは昭和30年頃。風景写真を主に楽しんできましたが、腕前は歳の数とは関係が無い事をつくづく実感しています。

佐藤美智子

春夏秋冬の美しさがある只見川、特に夏の霧が漂う風景が大好き！すぐそばで絶景を愛でることが出来る幸せを感じています。

中兵一郎

2008年9月に退職後の趣味としてカメラとレンズ2本を購入して撮影を開始。コンテスト等には応募せず。2010年、「写団道奥21」に入会。

諸井祥一

退職後、ボケ防止のためカメラを持ち16年。奥会津の宝を失い(川口～只見駅間)5年8ヶ月、もう少しで宝が戻ってくる。みんなで乗ろう只見線。

二瓶 厚

特別出展

大竹恵子(色鉛筆画家)

奥会津・金山町大志出身の色鉛筆画家。故郷の大自然や温かい人々を色鉛筆で描いています。

松本 忠(鉄道風景画家)

鉄道のある風景」を極細ペンと水彩で表現。各地で個展開催。著書に「大人の塗り絵 鉄道のある風景編」(河出書房新社)など。

吉永陽一(鉄道写真家)

1977年東京都生まれ。大阪芸術大学写真学科卒業。空撮業務をメインに地上撮影も行う。講談社より「空鉄(そらてつ)」刊行。鉄道を空撮する「空鉄」を発表している。

会津ジゴ坂アトリレー芸術祭 只見線復興祈念写真展同時開催

福島県下郷町の会津ジゴ坂学舎で開かれるアトリレー芸術祭において、只見線復興祈念写真展を同時開催いたします。期間は2017年4月22日(土)～5月31日(水)まで。会津ジゴ坂学舎では、2011年の只見川の被害を記録した貴重な写真ほか、郷愁を感じずにはいられない、只見線を走るSLの写真などを多数展示いたします。三島町交流センター山びこの展示と合わせて、ぜひご覧ください。